学校番号	１２０７

平成 31 年度　芸術科

教科	芸術科	科目	美術Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	美術Ⅱ　（光村図書出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

■１年次の美術Ⅰで学んだ「鉛筆デッサン」「デザインの基礎」「アクリルガッシュの使い方」「紙立体、工作」を美術Ⅱでは復習、発展させ、美術を身近に感じる実習を実践する。
■自己の内面と向き合い、多様な表現方法で作品に昇華させていく。
■様々な作品に触れることで、将来につながる情操を育む。

2　学習の到達目標

美術の幅広い活動を通して、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、芸術の諸能力を伸ばし、芸術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心をもち、主体的に個性豊かな表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、自然、自己、社会などを深く見つめ主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、主題にあった表現方法を工夫し、創造的に表している。	美術作品などの表現の工夫や心豊かな生き方の創造に関わる美術の働き、美術文化などの理解を深め、そのよさや美しさを多様な視点から創造的に味わっている。
評価方法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループワークの様子	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	オリジナル曼荼羅	【色彩】【鑑賞】 ・曼荼羅についての学習→デザインとして模様を考える。 ・模様のワークシート ・アイデアスケッチ ・模様の意味や配置を考えながら本制作 ・クラスの生徒作品を鑑賞する。	○ ○	○ ○ ○	○	○	a:曼荼羅の構成や意味について関心を持ち、これらの学習に意欲を高めている。 b:条件や美しさなどから、形や色彩などの働きを考えて表現の構想を練っている。 c:アクリル絵の具の特性を生かし、表現方法を工夫して、条件や計画を基に表現している。 d:日本の伝統的な美術の表現の特質や様式、主題や表現方法、日本及び諸外国の美術文化について理解を深めている。	学習活動の様子 制作の様子 作品
	教科書模写	【絵画】【鑑賞】 ・美術Ⅰ、Ⅱの教科書の中から好きな絵画作品を選び、自分が付け加えたい題材を描き足しながら模写する。 ・模写のワークシート ・模写のアイデアスケッチ ・本制作 ・クラスの生徒作品を鑑賞する。	○ ○	○ ○ ○	○ ○	○	a:主体的に主題を生成し、形体、色彩、構成などを創意工夫して構想を練ろうとしている。 b:主題を効果的に表現するために表現形式の特性を生かし、形体、色彩、構成などを工夫して創造的な表現の構想を練っている。 c:表現したい意図を大切にして、より効果的な表現方法を選択・活用するなど創意工夫し、主題を追求して表現している。 d:美術作品などのよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などについて理解しようとしている。	ワークシート 制作途中の作品 作品

2学期	くだもののイメージ	【デザイン】 ・色彩基礎 ・色彩構成 画用紙にアクリル絵の具で着色する。 くだもののイメージに合うように明度・彩度・配色構成等を工夫し表現する。 ・合評 他の人がどのような表現をしているかを知り、次回以降の制作につなげる。	 ○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○	 ○	a:くだもののイメージを表現することに関心を持ち、形や色彩などの働きを考えながら構成を練ったり、表現したりしようとしている。 b:条件や美しさなどから、形や色彩などの働きを考えて、表現の構想を練っている。 c:アクリル絵の具の特性を生かし、表現方法を工夫して、条件や計画を基に表現している。 d:他の人の作品から様々なことを感じ取ることができている。	ワークシート アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 作品
	はばたけ!きらめく世界の美術	【鑑賞】 ・現代美術や現在世界で活躍しているアーティストの作品について紹介された中から1作品選び、表現の特徴や工夫についてまとめる。 ・同じ作品を選んだ人同士グループになりその作品について調べる。 ・班ごとに発表する。	 ○ ○ ○			 ○ ○ ○	a:現代美術や様々な国のアーティストに関心を持ち、意欲的にグループ活動に参加しようとしている。 d:作品の表現方法や制作工程などに理解を深め、それについて自分の意見や考察を持ち、感想を述べている。	ワークシート 鑑賞活動の様子や活動内容
	お菓子のパッケージをつくろう	【立体】 ・アイデアスケッチ 市販のお菓子の箱を観察し、購買意欲や販売促進の視点からアイデアを構築する。 ・制作 立方体、直方体の紙面にアクリル絵の具で彩色していく。	 ○ ○	 ○ ○	 ○		a:デザインの多様な表現に関心を持ち、主体的に主題を生成して構想を練ったり、目的や計画を基に表現しようとしている。 b:想像力を働かせ、機能や美しさを意識して創造的な表現をしている。 c:道具の特性を理解し、表現方法を工夫して制作できている。	アイデアスケッチ ワークシート 制作途中の作品 作品

3学期	手ぬぐいを作ろう	【工芸】 ・アイデアスケッチ 手ぬぐいの大きさを把握し消しゴム版との比率を理解したうえで、デザインを考えていく。 ・彫り 消しゴム版を制作する ・染め ステンシル用の絵の具で消しゴム版の模様を手ぬぐいに写し取る。 ・合評	○	○	○ ○		a：手ぬぐいの用途や歴史に関心をもつことができている。お互いの作品を評価しあうことができている。 b：手ぬぐいと版のサイズをうまく利用したデザインと、創造性に富んだデザインになっている。 c：道具の特性を理解し、表現方法を工夫して制作できている。	ワークシート アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 作品

※　表中の観点について　a：美術への関心・意欲・態度　　b：発想や構想の能力
c：創造的な技能　　d：鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。